

平成 3 1 年度狂犬病予防集合注射の実施について

1 経過

- 近年では、狂犬病の予防接種を動物病院で接種させる方が年々増加しており、集合注射での注射頭数が減少する傾向にあります。また、集合注射会場においては、これまでから犬同士のトラブルが起こったり、ワクチン接種による突発的な副作用発生への対処が難しいことなど、事故の発生の懸念があったことから、京都市では、より安全に接種できる動物病院での接種に移行していく方向で取組を進めていくこととしました。
- ついては、平成 2 9 年度より、これまでの集合注射会場の抜本的な見直し作業を始め、近隣会場や動物病院の立地状況を考慮したうえで、ここ数年の注射頭数が少ない会場（おおむね 5 0 頭以下）や雨天時の対応が難しい会場を中心に、8 2 会場を削減し、平成 3 0 年度からは 1 5 9 会場で集合注射を実施しました。
- 会場の削減にあたり、混乱をきたさないよう、市民しんぶんやホームページ等で周知を図るとともに、市民からの問い合わせに対して、近隣の集合注射会場や動物病院を紹介するなど例年以上に丁寧な対応に努めました。また、注射会場の獣医師を増員するなど実施体制にも配慮しました。
- 危惧された会場での大きな混乱や事故等はありませんでした。

2 平成 3 1 年度について

- 平成 3 1 年 4 月の集合注射についても、平成 3 0 年度に引き続き、約 1 6 0 会場を実施いたします。
- 実施会場や日程等を含む詳細な計画は、2 月中旬に公表予定です。

【平成 3 1 年度 集合注射実施会場（案）】

行政区	会場数		延べ日数		集合注射頭数 3 0 年度
	3 0 年度	3 1 年度	3 0 年度	3 1 年度	
北	14	14	8	9	645
上京	8	8	5	5	269
左京	18	18	8	8	566
中京	6	6	4	4	367
東山	5	5	4	4	210
山科	14	14	9	10	966
下京	9	9	5	5	407
南	11	11	6	6	617
右京	15	15	8	8	941
京北	21	17	3	3	—
西京	12	12	8	8	716
伏見	26	26	14	15	1703
合 計	159	155	82	85	7,407